

令和7年8月教育委員会定例会議事録（要旨）

- 1 開催日時 令和7年8月18日（月）
開会：午前10時 閉会：午前10時20分
- 2 開催場所 災害対策本部室
- 3 会議次第
○7月定例会議事録承認
○教育長報告
○議案第29号 令和8年度市立小中学校教科用図書の採択について
- 4 出席委員
島崎教育長、田村委員、周防委員、大西委員
- 5 事務局出席者
清水教育部長、堀口教育部次長、上杉教育部次長、藤原教育総務課長、植西同課長補佐、藤井同課企画総務係長、佐藤同課主任、北同課主事、藤橋教職員室長、田中学校教育課長、南出同課長補佐、中西同課主任指導主事、奥田同課主査、小西児童生徒支援課長補佐、二ノ宮学校給食課長、川瀬生涯学習課長
- 6 会議を傍聴した者
(1) 一般傍聴者 0人 (2) 市政記者等の傍聴者 0人
- 7 議事の経過 別紙のとおり

(議事の経過)

開会 教育長が8月定例会の開会を宣言

議題の公開／非公開 全て公開

7月定例会議事録承認 承認

教育長報告

○議案第29号 令和8年度市立小中学校教科用図書の採択について

【説明】

○田中学校教育課長 本年度新たに採択を行うものは、小中学校特別支援学級で使用する一般図書である。

令和7年度大津市教科用図書選定審議会（以下「審議会」という。）は、本年5月27日から7月18日までに計3回開催し、小中学校特別支援学級で使用する14冊の一般図書の調査研究及び推薦図書の選定が行われ、答申に至った。

まず、答申までの経緯について説明する。

昨年度と同様に、専門事項の調査及び研究をさせるため、専門性を持つ教員5人を、特別支援部会の調査研究員として指名した。6月の約1か月間をかけて調査及び研究を行い、本市の教科用図書採択の基本方針に沿って設定した観点について、各図書の特徴が審議票としてまとめられた。その後、7月には審議会において、調査研究員から提出された審議票に基づいて、審議会委員が対象となる全ての図書について閲覧及び研究を行った。審議会の最終回において厳正なる評価を行い、推薦図書の選定、教育委員会への答申がなされた。

また、教科書展示会を6月3日から同月28日まで、大津市生涯学習センターにおいて開催した。同会場では、県のアンケートに加え、市独自のアンケートを実施し、市民の皆様から寄せられた意見を、審議会委員や調査研究員に閲覧いただいた。

続いて、審議会における推薦図書の決定について説明する。

小中学校特別支援学級で使用する一般図書については、市の3つの観点について、「問題ない」「ふさわしくない」の2つで評価し、「問題ない」が過半数であった図書を推薦図書の原案として審議し、議決された。

審議会においては、「支援学級のそれぞれの子どもにとっての本ということを考えると、どの本もすごく生きてくる。」「一つひとつの本が特徴的。すごく強みを持っているし、そうあるべき。個性のある子どもたちへの教科書だと考えると、どの本もよく選ばれている。」「学校にいる子どもたちが使っている姿を思い浮かべると、どれも本当にうまく使えると思えるようなものであった。一方、調査研究員も色々な視点で調べており、課題も挙げられているので、教員はそれも理解して使わないといけない。」などの意見や感想があった。

最後に、答申について説明する。

別紙1は、令和8年度の小学校各教科の教科用図書の推薦図書である。小学校各教科の教科用図書については、令和5年度に採択され、令和6年度から使用されているものを推薦図書としている。これは、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令の規定により、種目ごとに同一の教科用図書を採択する期間は4年とすることとなっているためである。

別紙2は、令和8年度の中学校各教科の教科用図書の推薦図書である。中学校各教科の教科用図書については、令和6年度に採択され、今年度から使用されているものを推薦図書としている。これは、小学校と同様に、同一の教科用図書を採択する期間は4年とすることとなっているためである。

別紙3は、令和8年度の小中学校特別支援学級で新たに使用する教科用図書の推薦図書である。

別紙4及び別紙5は、令和8年度に小中学校特別支援学級で使用する教科用図書の一覧であ

り、赤字で表記されている図書が新たに採択する図書である。

なお、小中学校特別支援学級で新たに使用する教科用図書の推薦理由については、先述の評価の結果をもってその理由に代えることとし、採択後に市のホームページで公表する。

このほか、弱視学級の児童・生徒に対しては、通常学級用の教科用図書を拡大した「拡大図書」や文字を点訳した「点字教科書」を使用できることとしている。

【質 疑】 なし

【採 決】 可決

閉会 教育長が8月定例会の閉会を宣言